



GIGAスクール構想と 親しみやすい市庁舎について

平井 玲子 議員



GIGAスクール構想

質問 文部科学省は「GIGAスクール構想」として児童生徒1人1台の端末と、学校の高速大容量の通信ネットワークを整備することとしていますが、本市の小・中学校における学習用端末の整備状況についてお尋ねいたします。

答 コンピューター教室に各40台、持ち運び用タブレット型PCを各22台整備しており、合計992台となっています。

質問 本市の学習用端末1台当たりの児童生徒数についてお尋ねいたします。

答 平成30年度におきまして、5・7人に対し1台

となっています。

質問 GIGAスクール構想の実現にどう取り組んでいけるのか、お考えを伺います。

答 新たな視点や発想に立って、教育システムなども含めて見直し、準備を進めていく必要があります。

要望 学校が休校の非常時にもタブレットが1人1台あれば、遠隔授業ができません。学校ICT環境の飛躍的な充実と、ICTを効果的に活用した豊かな学びの

実現を目指して、教育委員会だけではなく、市全体をあげて全力を尽くしていただくよう要望いたします。



親しみやすい市庁舎へ

質問 市民課待合ホールのテレビで、市議会中継を放映することは可能ですか。

答 市民の皆様にも興味を持っていただくことにつながりますので、議会開催時には中継にチャンネルを切り替えたいと考えます。

要望 みどり市の庁舎には自動証明写真機が設置され、マイナンバーカードの申請もでき好評だそうです。本市においても自動証明写真機の設置を要望いたします。



公共交通網および タクシー券制度の拡充について

篠木 正明 議員



質問 高齢化が進行する中で、地域公共交通網の整備は、まちづくりの重要な要素になっています。市長は地域公共交通網について、どのように考えていますか。

答 高齢化や健康面、環境面からも、地域公共交通の整備や利用促進は待ったなしの状況だと思えます。

質問 バスを利用したくても本数が少なく利用できないという声を聞きます。運行本数を増やす考えはないのですか。

答 利用者が増えるのであれば、運行本数の増便も考えられると思います。

質問 1路線につきバス1台で運行しているのを、2

台にすれば、1時間に1本程度の運行になります。財政面や乗務員不足などの課題があると思いますが、追加する1台をワゴン車にすることによって、乗務員確保の条件が広がると思えますが、どう考えますか。

答 経費の多くは人件費ですので、車両を小さくしても経費が大幅に削減されるわけではありません。運転手の確保という課題もあります。しかし、運行本数が増えた方が良いのも明らかです。

かです。そこで、広域幹線路線と循環線、区域運行の組み合わせなど、効率的で利便性の高い公共交通を冷静かつ客観的に検討していきたいと考えています。

質問 国の基本方針には、地域公共交通は観光振興や健康、福祉、環境など様々な分野で大きな効果をもたらすと指摘されています。目先の収支だけでなく、大きな観点で考えていただきたいと思えます。次に、タクシー券について

て伺います。新年度からタクシー券の一部が通院だけでなく、買物にも使えるようになりませんが、高齢者の外出の機会を増やすことが介護予防などにつながるのですから、用途制限をなくすべきだと思えますが、どう考えていますか。

答 今回の用途拡充は、高齢者の移動を何で賄うか、最大限の効果があがるかを検討するまでの実証実験でもありますので、ご理解のほど、よろしく申し上げます。